

白鳳丸研究航海報告

東京大学大気海洋研究所

- * 航海番号 KH-13-5次研究航海
- * 観測海域 房総沖、三陸沖
- * 航海期間 平成25年9月4日（水）～平成25年10月3日（木）
- * 出港日時・場所 9月4日14時 東京港
- * 入港日時・場所 10月3日10時 東京港
- * 寄港期間・場所 9月20日10時～9月22日14時 塩釜港
- * 航海の研究題目 (和文) 東北沖から房総沖にかけてのプレート境界固着状態解明のための総合調査
(英文) Geophysical survey for coupling of plate boundary at off Tohoku and off Boso.
- * 主席研究員（氏名・所属・職名・e-mailアドレス◎は◎）
Leg. 1 佐藤利典・千葉大学大学院理学研究科・教授・satot◎earth.s.chiba-u.ac.jp
Leg. 2 木戸元之・東北大学災害科学国際研究所・准教授・kido◎aob.gp.tohoku.ac.jp
- * 研究内容，主調査者（e-mail アドレス），観測項目
 1. エアガンを用いた房総沖の反射波探査と圧力計による海底地殻変動観測
佐藤利典(satot◎earth.s.chiba-u.ac.jp)、測器回収・設置、位置決め、MCS 反射波探査
 2. 北緯39度付近を中心とした海底地震計・エアガンを用いた屈折波・反射波探査と海底地震計精密小アレイの構築
山田知朗(yamada◎eri.u-tokyo.ac.jp)、測器回収・設置、MCS 反射・屈折波探査、海底地震計精密小アレイ設置
 3. 三陸沖の海底間測距と小型曳航ブイ・自航式ブイを用いた海底 GPS による地殻変動観測
木戸元之(kido◎aob.gp.tohoku.ac.jp)、測器回収、位置決め、海底 GPS 観測
 4. 房総沖における地殻熱流量測定と海底堆積物採取
山野誠(yamano◎eri.u-tokyo.ac.jp)、地殻熱流量測定、堆積物採取、海底水温長期計測

* 乗船研究者氏名・所属・職名

Leg. 1

佐藤利典・千葉大学大学院理学研究科・教授
平塚晋也・北海道大学大学院理学研究院・非常勤職員
東龍介・東北大学大学院理学研究科・助教
鈴木悠平・東北大学大学院理学研究科・大学院学生
亀尾桂・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員
李雅利・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員
山田知朗・東京大学地震研究所・助教
八木健夫・東京大学地震研究所・技術職員
田中伸一・東京大学地震研究所・技術職員
悪原岳・東京大学地震研究所・大学院学生
仲谷幸浩・東京大学地震研究所・大学院学生
靄島大資・東京大学地震研究所・大学院学生
高田裕能・千葉大学大学院理学研究科・大学院学生
芦葉俊志・千葉大学理学部・学部学生
寺田麻美・千葉大学理学部・学部学生
中東和夫・神戸大学大学院理学研究科・助教
武林仁樹・神戸大学理学部・学部学生
寺岡拓也・神戸大学理学部・学部学生
小池太郎・(株) ジオシス・観測技術員
村田義彦・(株) ジオシス・観測技術員
西槇秀如・(株) ジオシス・観測技術員
岩田将司・(株) ジオシス・観測技術員
澤田壮一郎・(株) ジオシス・観測技術員
川端雅夫・(株) ジオシス・観測技術員
菅野真人・(株) 日本海洋事業・観測技術員
柴田英紀・(株) 日本海洋事業・観測技術員

Leg. 2

木戸元之・東北大学災害研・准教授
和田育子・東北大学災害研・助教
長田幸仁・東北大学災害研・研究員
椎名高裕・東北大学大学院理学研究科・大学院生
田村淳・東北大学大学院理学研究科・大学院生
富田史章・東北大学大学院理学研究科・大学院生
日比野剛大・東北大学大学院理学研究科・大学院生
亀尾桂・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員
竹内誠・東京大学大気海洋研究所・技術職員
山野誠・東京大学地震研究所・准教授
川田佳史・東京大学地震研究所・特任研究員
藤田親亮・東京大学地震研究所・技術職員
佐藤悠介・マリン・ワーク・ジャパン・観測技術員
濱元栄起・埼玉県環境科学国際センター・主任
伊藤喜宏・京都大学防災研・准教授
川村喜一郎・山口大学大学院理工学研究科・准教授
中尾啓太・山口大学大学院理工学研究科・大学院生
仁田彩・山口大学大学院理工学研究科・大学院生
藤井美南・山口大学大学院理工学研究科・大学院生
岳孝太郎・山口大学理学部・学部学生

* 航跡・測点図

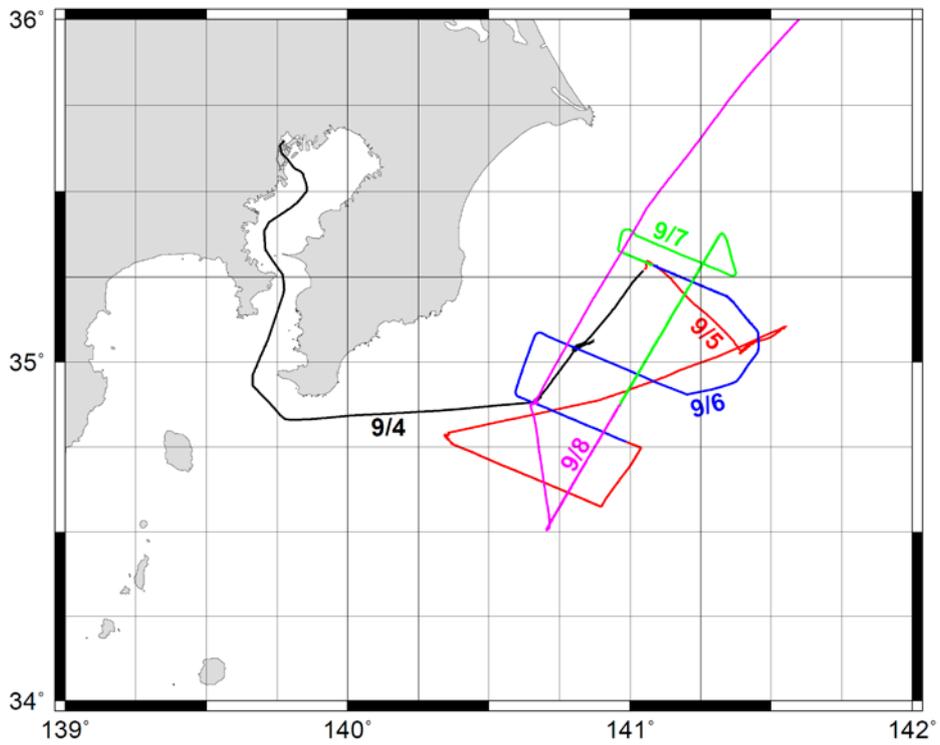


図1 Leg.1房総沖航跡図。日付は世界標準時。

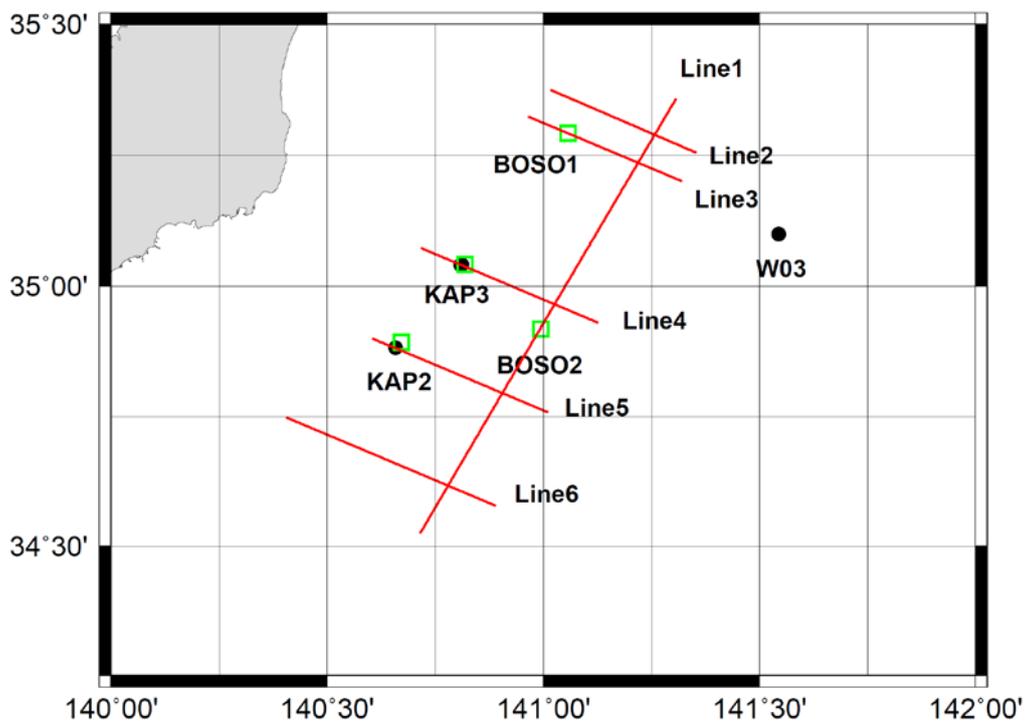


図2 Leg.1 房総沖観測図。黒丸は圧力計回収点 (KAP3は2点)。緑四角は圧力計投入点。赤線はMCS 測線。

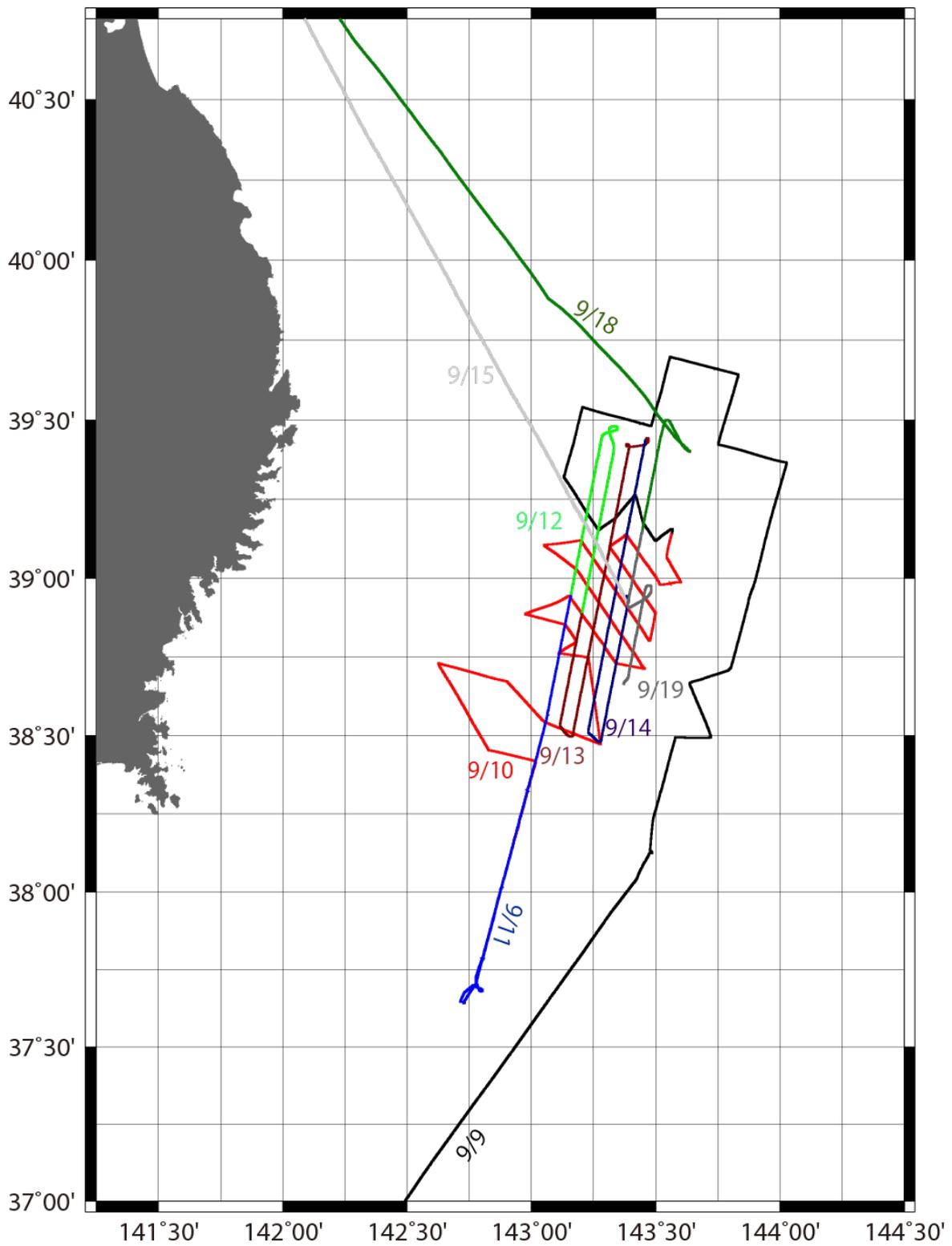


図3 北緯39度付近航跡図

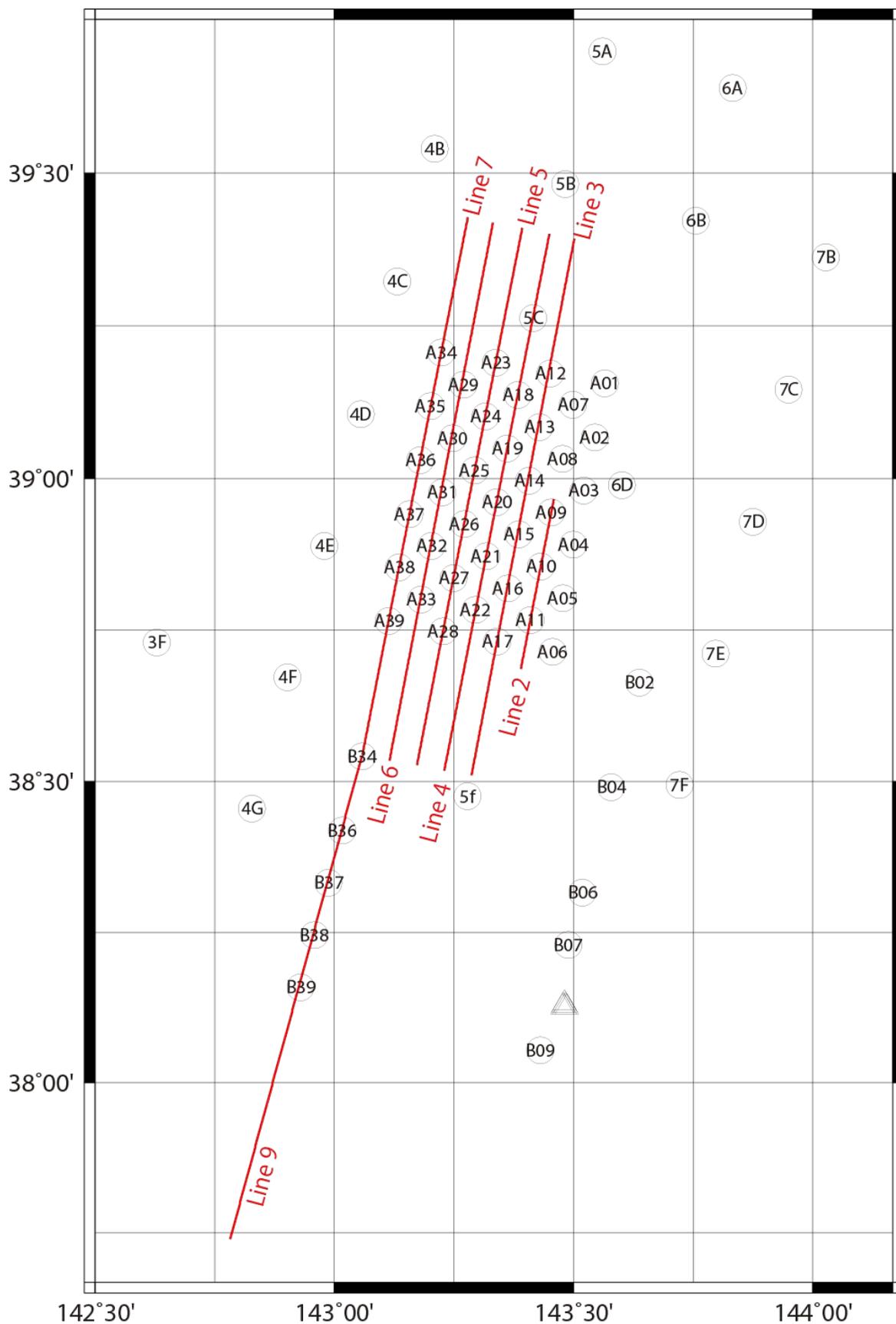


図4 Leg.1 北緯39度付近観測図。黒丸は地震計設置68点。黒三角はアレイ観測用地震計設置6点。赤線はエアガン発震および MCS 曳航測線。

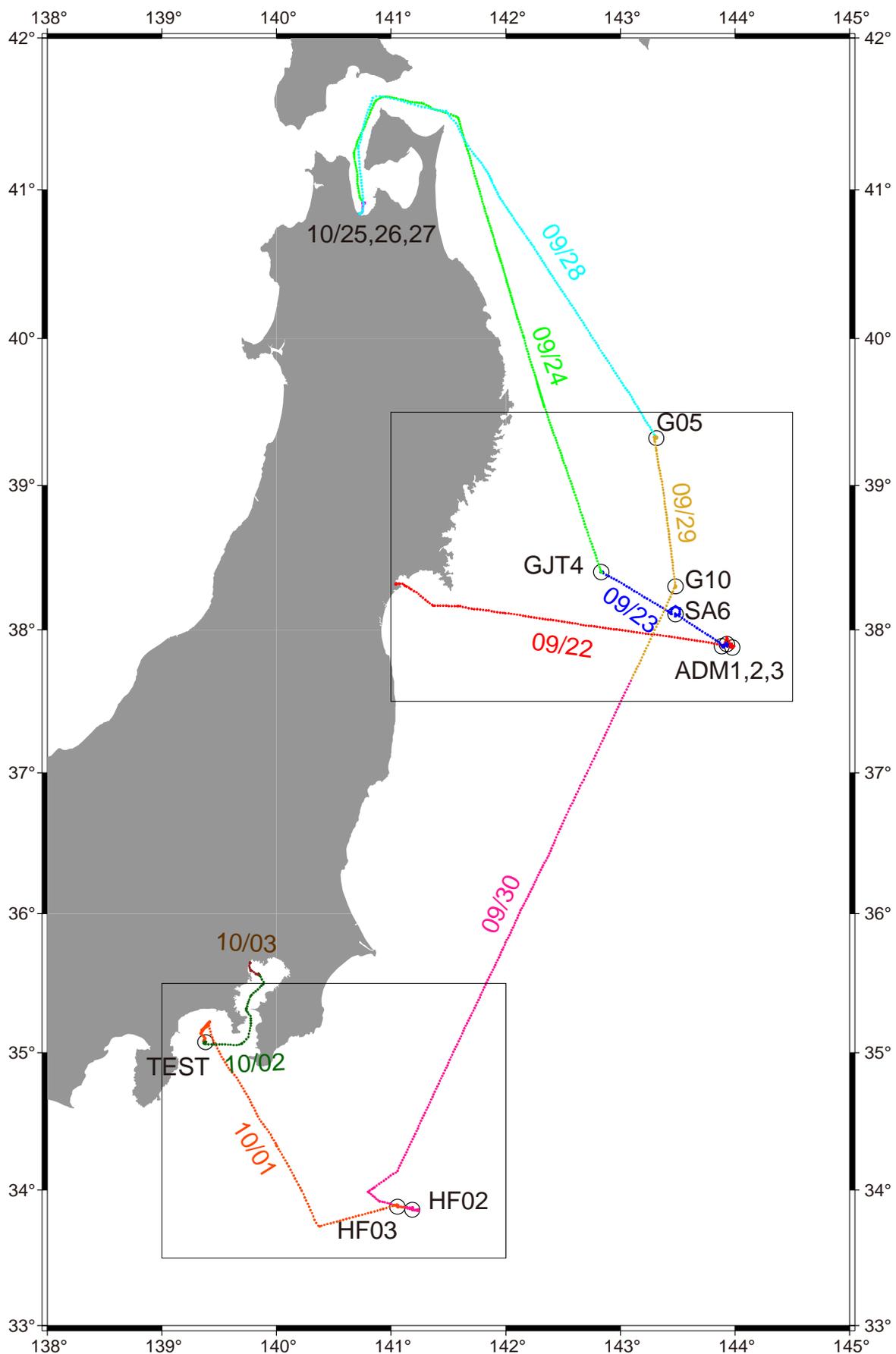


図5 Leg2全航跡図(日付は世界標準時)。

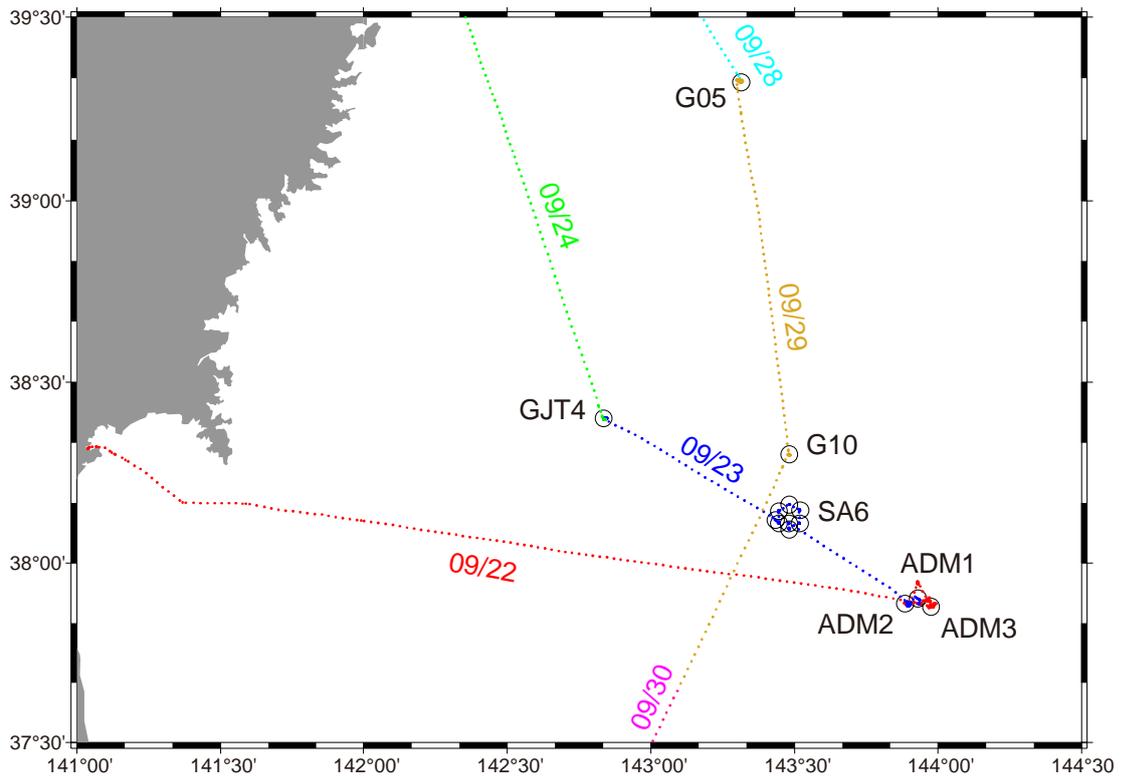


図6 Leg2東北沖航跡図(日付は世界標準時)。

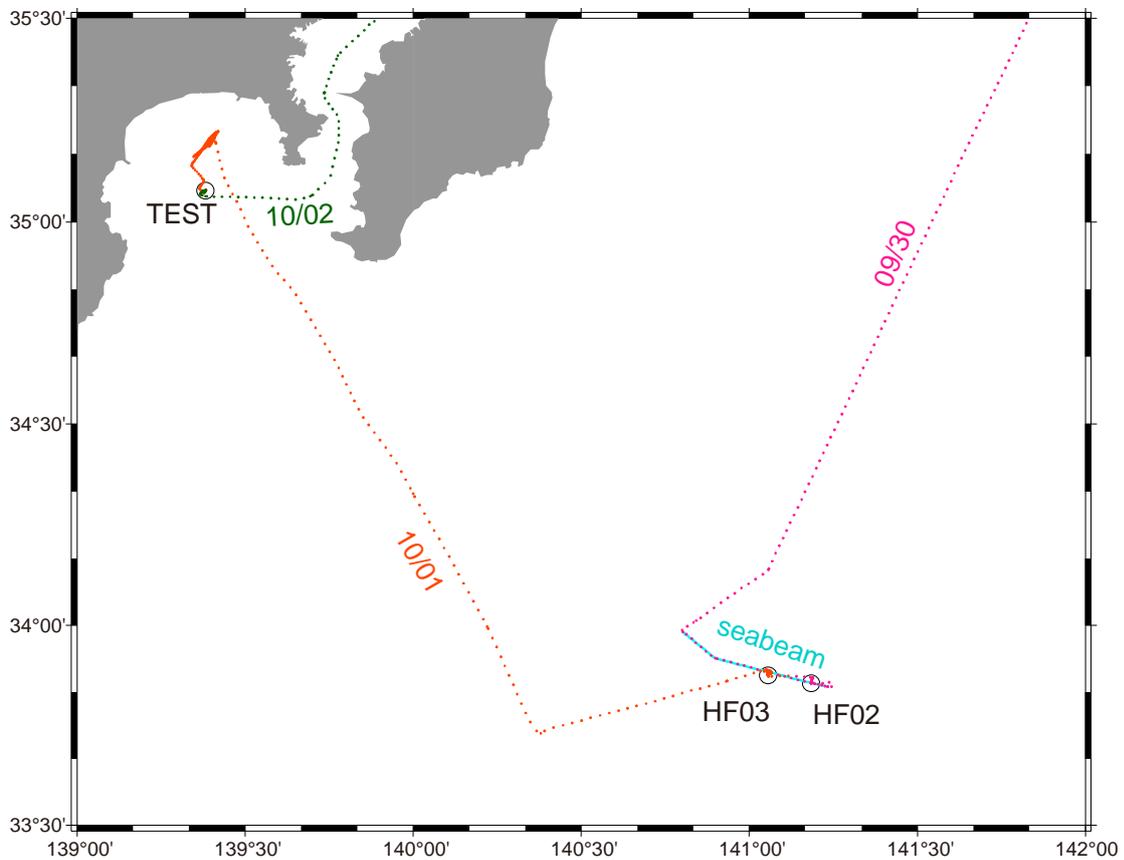


図7 Leg2房総沖航跡図(日付は世界標準時)。